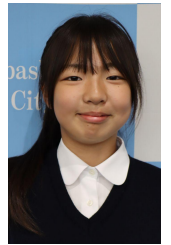


あたりまえのすばらしさ

網走市立第二中学校 二年 鹿討 更紗(しうち さらさ)



私は糸満市派遣事業に参加し、平和の尊さや沖縄の文化について学びました。

沖縄戦と他の戦争で圧倒的に異なっているのは、兵士だけでなく一般人の死者がとても多かったという事です。沖縄戦では子どもや学徒隊、70歳超えのおじいさんまで根こそぎ動員され、人権がないまさに地獄でした。米軍にとって沖縄は日本を侵略するための中間地点、日本にとって沖縄は日本本地にせめてくるまでの時間稼ぎです。2週間で終わるはずだった争いは、3ヶ月も長引き、兵士でも一般人でも関係なく戦わされました。戦争は、私たちの当たり前を壊します。おいしいご飯、きれいな水があって、学校に行って、友だちと遊べるのは平和だからこそできるのです。私は、もう戦争をしないということを未来に伝えていくべきだと思います。しかし、戦争が起こったのは80年以上も前。実際に経験した方はどんどん減ってしまいます。これは大きな問題です。私は訪問2日目に糸満市役所に行った時、糸満市長と教育長に歴史を伝えるためどのような取り組みを行っているのか聞きました。糸満市では、学生ガイドを育成したり、野球と平和をつなぎ世界に発信したり、6月23日を慰霊の日として平和月間を行っているそうです。私は、このような活動を行うおかげで平和が保たれているので、これからも伝え続けたいと思いました。

糸満市を訪問し、沖縄戦の歴史の他にも沖縄独自の文化を学びました。1日目のガリガリーおおしろさんでは、沖縄の伝統料理「サーターアンダギー」を作りました。中にはバナナやスパムを入れて食べました。おいしかったので家に帰ってから、レシピ通りに作って家族と一緒に食べました。3日目の美々ビーチでサバニ体験をしたときに、北海道と全く異なる海や砂の色に驚きました。琉球ガラス村では、伝統工芸品の琉球グラスを作り、もともとは戦争で米軍が飲み終えたコーラ瓶などから作られていたことを知りました。戦争はもうやってはいけないけれど、戦争から生まれた文化も残っていることは凄いと感じました。この様な活動を通じて、網走市だけでなく厚木市や糸満市の中学生とも仲良くなれて嬉しく思います。

この4日間は、歴史や文化について教科書に書いていないことをたくさん知ることができました。もっと多くの人がこの事業に参加して、あたりまえに人権があって、人として生活ができる事のすばらしさを改めて感じてみてほしいと思います。この度は、糸満市派遣事業に参加させていただきありがとうございました。